

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	アトリエキッズ高崎浜川		
○保護者評価実施期間		2025年2月20日	~
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間		2025年2月20日	~
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日		2025年3月12日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・SSTの課題を定期的に取り入れることにより、お子様の自立を促す支援を行えている事。 ・公共施設や公共交通機関を利用してことで、実体験を踏まえて社会性を育んでいる。	・ソーシャルスキルのプリント課題の用意や、レクリエーションの一つにソーシャルスキルトレーニングを交えた活動を取り入れている。 ・屋外施設の利用や電車支援、外食体験を行うことでお金のやりとりや手持金の使い方なども行う。	・昨年取り組んでいた職場体験などの地域交流の場を設け、外部の人とも関わるような支援を検討している。 ・祝日や長期休みなど普段参加できないお子様も体験できるよう体勢を整え、良い多くのお子様に体験していただく。
2	・それぞれの職員が得意分野を持ち、その分野を生かした支援を行っている。 ・お子様の特性や年齢などに合わせた個別課題を設定し、スマーリュステップで進められるよう意識している。	・工作や手芸など巧緻性を高められるような活動、運動支援を通して体幹を鍛えられるような活動を意識しておこなっている。 ・グループ活動、個別活動を特性に合わせて行い、お子様がもつ力がなるべく発揮されるような活動を行う。	・支援のマンネリ化を防ぐため、月ごとに個別課題を取り入れて日々の支援を実施していく。 ・個人の意見だけでなく、従業者全員の意見を出し合い行き先や活動内容の幅を広げている。
3	・季節の行事や制作を随時取り入れそれぞれのお子様の認知機能を高められるよう支援している。 ・自己紹介カードなどを通じて自分を表現する場を作るとともに周りのお子様を理解するため相手の良いところを褒めるレクレーションを取り入れている。	・毎月季節に合わせた折り紙等で壁画を制作している。 ・ハロウィンやクリスマス、節分、夏祭りなど事業所で季節ごとのイベントに合わせたお楽しみ会を実施している。	・季節の行事により親しみをもっていただけるように、行事にちなんだクイズや謎解き等を取り入れ、理解を深める。 ・イベントごとのみに限らず、季節の食べ物をおやつや昼食に取り入れている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定期的な保護者会を開催することができていなかった。	・感染症拡大防止に重きをおいていたため。 ・個別面談の希望者が多く、全体での取り組みが遅れてしまった。	・感染症予防を十分に行い、今後開催を検討していく。 ・保護者様の日程調整を事前に行い、参加希望者全員が参加できるよう検討する。 ・要望についてその都度確認し、対応していく。
2	・移転後に事業所内見学の機会を設けられていない。	・希望者には見学対応を行っている旨を全体周知できていなかった。 ・個別面談時に事業所見学を合わせて行うことができなかつた。	・事業所見学の機会を設けていく。 ・保護者会の開催を行い、その際に見学できるようにする。
3	・非常時、災害時の避難訓練実施を周知しきれていない。	・年数回の実施のため、その日に利用がないご家庭への周知が乏しくなってしまう。	・避難訓練の回数を増やしたり、様々なシチュエーションで実施したりと、なるべく多くのお子様に参加していただけるよう調整する。 ・また申し送り時やSNSを活用し認知していただけるよう行う。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		アトリエ・キッズ高崎浜川						
		公表日 2025年3月12日						
利用児童数 26 回収数 22								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	5	実際の活動現場を見ていないため。	事業所の見学希望がございましたら、見学も随時承っておりますので、ご連絡ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	5	子どもの人数や障害度によっても変わってくると思うので、適切かどうかは不明。	貴重なご意見ありがとうございます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	8	見学をしたことが無い為わからない。	事業所の見学希望がございましたら、見学も随時承っておりますので、ご連絡ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	4	・整理整頓されていて過ごしやすい空間になっていると思います。 ・迎えに行って見えている所は清潔に感じられる。	今後も事業所内の整備を徹底してまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	4	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	6	10		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0		
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0			
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	5	9			
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	20	1	0	1			
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4	0	1	・いつもお時間作っていただきありがとうございます。 ・私の方からなかなか聞くことができず、相談にまでならない。	ご希望がございましたら、個別面談のお時間を設けさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	2			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	7	9	コロナが流行ってから、そういう機会はないので何とも答えられない。	感染症対策をおこなった上で、今後保護者会の開催を検討しております。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	11		年間2回以上実施しておりますが実施日以外の方へも周知をできるよう検討してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	0	先生方の事を信頼し、安心して過ごせているようです。	貴重なご意見ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・毎日、何をしようかな？明日は何ができるかな？と楽しみにしております。 ・楽しく通っているので毎回ありがとうございます。	今後もお子様方に楽しんでいただけるような支援を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0	・安心して毎日の利用をお願いする事が出来ております。これからもお願いします。 ・いつもありがとうございます。	今後もご満足いただけるような支援を継続してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アトリエキッズ高崎浜川					公表日 2025年3月12日
環境 ・ 体 制 整 備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	2	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	5領域の支援に加えて、学習支援・余暇支援など臨機応変に分かれて支援出来ている。	比較的よいがクールダウンやストレッチのスペースが取れるともっと良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・学習の場と活動の場を明確に分けている。 ・スケジュール版を用いることで、一目で流れを確認できるようにしている。	クールダウンのスペースが個々によって異なる為、改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	お子様の過ごすスペースは、常に清潔に保てている。	物の管理などは工夫する必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		パーテーションなどを用いて、クールダウンのスペースを作った方が良い。
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・月一の会議の他にも話し合いの場を設け、討論することができている。 ・各自それに基づいた行動をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の情報共有の他、定期的に会議を行い、業務改善に努めている。	意見交換の機会をもう少し増やしたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修計画に基づき、定期的に研修を開催している。	
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	いつでも確認できるよう管理している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	1日支援の活動は全員で決めており、意見交換や確認をきちんと行えている。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	職員それぞれ得意分野を持ち、新しい支援内容を取り入れるようにしている。 各自アイディアを出し合い、行えている。	当番制にすると、もっとやりやすくなる。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	打ち合わせのような決まった会ではないが、 その日の支援のシェアなどは行えている。	決まった時間に取ることが出来ていない為、改善することを検討する。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録はきちんと残すことができている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	学習や遊びの選択など、自発的にできるような声掛けは行えている。	より多くの活動ができるように工夫していく。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	こまめに連絡を取り、適切に行うことができていると感じる。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		高校卒業まで在籍しているお子様の利用がまだない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		今後検討していく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	こまめに聞き取りを行い、意向を確認できていると感じる。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があつた際には適切に対応し、スタッフ間で共有して支援をおこなっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		感染症対策をきちんと行き、今後開催を検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	LINEやインスタグラムを通して、こまめに発信することができている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	破棄する文章はシュレッダーにかけるなど、個人情報の取り扱いには十分気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	会議の場でヒヤリハットの共有を行うとともに、再発防止に向けた検討もおこなっている。	話し合う頻度をもう少し増やしても良いと思う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		